

小委員会名	地域マネジメント研究小委員会	
テーマ名	地方都市におけるサステイナブルなまちづくりと地域マネジメントの方法に関する実証的検討	
① 研究目的	基本テーマとして「魅力ある自立型地方都市の再生のための地域マネジメントの方法論の実証的研究」を目指している。具体的には、①循環型環境システムを導入した郊外地域の農業生産システム開発、大規模農業公園・道の駅施設・観光農園からなるアグリネットワークシステムの構築②ミニバスあるいはLRTネットワーク駅とJR駅との乗り換えのためのトランジットモール整備とまちづくり構想③地域住民・企業参加型での事業計画化と実施マネジメントを行うRMCの構築、等々を目的とする。	
② 成果概要	<p>今年度は、上記①目的のうち新設の国道1号線バイパス（栗東水口道路）沿線に道の駅と地域振興施設並びに大規模商業施設整備を、農業公園施設と併設する構想を分析し、湖南市当局に提案した。②に関しては、上記「③地域住民・企業参加型での事業計画化と実施マネジメントを行うRMCの構築」の先駆けとして、既設住民組織（石部町まちづくり会議）や市内自治会組織を対象に、都市整備ニーズと提案した都市開発・整備構想に対する意向・要望をモニタリングして、「ミニバスあるいはLRTネットワーク駅とJR駅との乗り換えのためのトランジットモール整備とまちづくり構想」に対する分析情報を収集・分析した。ここでは、調査対象とした住民の50%以上から意見が寄せられ、その中では上述の構想案にたいしほぼ8割の賛同を得る内容を得ている。そして、次年度に地域交通ネットワーク基本計画と段階的整備事業構想を、都市開発・再開発計画・事業化の問題と併せて議論し提案している。最後に③の（社）地域マネジメントセンター（RMC）構築の課題は、その現地事務所として石部地区にある湖南市西庁舎に1室が準備される事となった。そして、「行政のメンバー」と、「住民による石部町まちづくり会議メンバー」との共同検討（まちづくり研究会）を行う事になった。以上のように今年度実証的検討は着実に前進したが、次年度から、立命館大学BKCに（社）地域マネジメントセンター（RMC）の研究部門の部屋を正式に設置し、地域マネジメントに関する基礎研究や、住民・産・官・学官のコミュニケーション活動を充実させていく事を予定している。</p>	
●中間		
○最終 (該当に●)		
③研究期間 進捗度	2009年4月～2012年3月（研究開始から3年目） ○予定より進んでいる ●ほぼ予定どおり ○予定より遅れ気味（該当に●）	
④研究体制	小委員長	春名 攻（立命館大学）
	副小委員長	谷澤亮（戸田建設）
	主要メンバー	竹林幹雄（神戸大）、馬場美智子（兵庫県立大学）、脇澤 学（PM工房）、山田幸一郎（CAP）、藤田和宏（八千代エンジニアリング）、植田和哉（五洋建設）
	小委員会委員数	30名
⑤発表実績	<p>1. 春名、桜田、西田山本：滋賀県湖南市における都市整備プロジェクト構想に関する研究、建設マネジメント研究発表討論会発表論文集、2011年、12月。</p> <p>2. 春名、脇澤、藤田、山田：都市再編成構想と段階的実現化のためのプロジェクトマネジメントに関する実証的研究、建設マネジメント研究発表討論会発表論文集、2011年12月。</p> <p>（その他省略）</p>	